

中国共産党を終わらせよう  
請願書に署名：  
<https://endccp.com/ja>



# 真相

第13期

三退（中共とその関連組織の共産党員、  
共青団員、少先隊員からの脱退）人数  
2004年7月～2025年8月現在  
**450,627,003人**

NPO 法人 全世界脱党支援センター日本 <https://www.quitccp.jp> 連絡先：info@quitccp.jp

## 日本に忍び寄る中国共産党の脅威 子と孫のために今できること

臓器移植によって救われる命がある。しかし、中国共産党は臓器移植を悪用し罪のない人々を殺害している。そのおぞましい行為は今や中国本土にとどまらず、日本を含む周辺地域に広がりつつある。

### 1か月で届く子供の心臓

2022年の年末、中国本土から香港へと子供の心臓が一つ届けられた。急性の心疾患を患った生後4か月の乳幼児の心臓移植手術を行うためだった。ドナーは脳死と診断された。臓器提供の打診からわずか1か月後のことだった。

移植の成功を宣伝する香港当局とは裏腹に、一般市民には動搖が広がった。中国本土の臓器提供システムがとともに機能せず、強制的な臓器摘出や臓器売買が横行していることを知っているからだ。

人権団体や欧米諸国の議会はかねてから、中国の臓器移植には倫理的な問題があると指摘してきた。日本の医師はメディアの取材に対し、中国では臓器移植を共産党の利潤追求のための産業とみなし、人間の臓器を「産業資源」としかみていないと指摘した。

健康な臓器を追い求める中国共産党は国内だけでは満足せず、香港や台湾、さらには日本をもドナーシステムに取り込もうと画策している。昨年11月に韓国・プサン市で開かれた臓



器提供シンポジウムでは、日中韓の医療関係者が臓器のドナーに関する情報ネットワークの構築について話し合った。効率的に臓器を運搬するため、ジェット機などで空輸することも検討された。

### 臓器狩りの被害者の実体験

中国出身の法輪功学習者・程佩明さんは2024年7月3日午後、米国ワシントンD.C.で開かれた記者会見で、中共から臓器を強制摘出された実体験を語った。程さんは記者団に、上半身左側の縫合された傷跡を見せた。

程さんは、黒龍江省鶏西市出身。1998年3月から法輪功を学んでいるという。記者会見で「中共が1999年に（法輪功の）弾圧を開始して以来、私は5回も迫害されました。2001年12月、私は不当に懲役8年の実刑判決を宣告されました。その間、強制的な臓

器摘出を含め、様々な拷問を受けました」と話した。

### 麻酔を強制され臓器摘出

程さんは、自らの体験を語った。「2004年11月16日、私は身体的な問題はありませんでしたが、大慶第四病院へ連行されました。警官は私の家族に、私が危篤状態にあり手術による生存率は20%だと告げました」

「彼らは私に手術のサインを求めましたが、私は拒否しました。その時、6人の警官が私を押さえつけ、麻酔をかけました」

3日後、程さんは目が覚めると、ベッドに手錠で縛り付けられ、胸に長さ35センチの切開跡があることに気づいた。後に移植の専門家が確認したところでは、程さんの肝臓と左肺の一部が手術で切除されていた。

### 米国政府に感謝

程さんは中国からタイへ逃亡しました。そして、米国政府の人道的救

助のおかげで、2020年に米国に到着した。「一連の健康診断の結果、肝臓と肺の一部が強制的に摘出されたことが確認されました」と程さん。

「私はあらゆる困難を乗り越えて悪魔の巣窟から抜け出しました。私の願いは、自分の悲惨な体験を公開し、中共の残酷な迫害と臓器狩りを暴くことです。そして、中共による凶悪犯罪を一刻も早く制止することを願っています」。

### 一人ひとりにできること

中国共産党は腐敗と堕落を輸出するのみならず、日本国民を恣意的に拘束し、軍事的圧力を強めている。日本国民一人ひとりが中国共産党の本質を見極め、正義のために声をあげることこそ、今を生きる我々が負うべき責務である。情けは人の為ならず。海の向こう側で起きている人権弾圧に声をあげることは、すなわち自らの運命を切り開くことに他ならない。

真実の情報が社会で伝わるにつれて、良識ある代議士が中国の人権問題に声を上げ始めている。中国臓器狩り問題に関して、厚生労働省はすでに渡航移植を受けた患者の実態調査に乗り出し、立法を通じて対処する機運も高まっている。

皆様へ

この資料は、いま中国で起きている真相をお伝えするため、無料で配布しているものです。

これによる宣伝や勧誘などの意図は、全くございません。どうぞご安心の上、お読みください。

動画  
動画  
唯一の臓器狩り被害の生存者が  
臓器を取られた実体験を訴えた

## 「中国共産党は人類の最大の脅威である」

### 『共産党についての九つの論評』

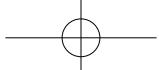


共産党の正体を暴く一冊。  
共産党を信じたら、命の保証はない。

[博大書店] [www.hakudai.jp](http://www.hakudai.jp)

←故・李登輝台湾  
元総統が署名、推  
薦。（大紀元）

動画  
動画  
共産党についての  
九つの論評  
新唐人テレビ NTD Japan



# 米下院「臓器取奪阻止法案」 「法輪功保護法案」を可決

米下院は2025年5月7日、圧倒的多数で「臓器取奪阻止法案」を可決した。この法案は、臓器移植の乱用やその目的のための人身売買に関与した者に対して、最大25万ドルの民事罰、最大100万ドルの罰金および最長20年の懲役を含む刑事罰を科す。さらに、米国への入国が認められず、ビザ取得の資格も与えられることになっている。

同法案を提出したクリス・スミス下院議員は、記者会見で「反人間的犯罪の残虐さと、それによって引き起こされる苦しみは想像を絶する。これは医学の名を借りた殺人だ。私たちは断固として行動を起こさなければならない」と述べた。

また米下院は5月5日、全会一致で「法輪功保護法案」を再度可決した。法案は米議



会が初めて拘束力のある形で、法輪功への迫害および生体臓器取奪に関与した者に対して、断固たる法的制裁を加えることを明言している。制裁の内容には、違反者の米国入国阻止、ビザの無効化、最高100万ドルの罰金と20年の懲役などの刑事罰の適用などが含まれる。そして、法輪功への迫害を即

時に停止するよう求めている。同法案を提出したスコット・ペリ下院議員は、「法輪功学習者に対して違法な拘束、強制労働、拷問、そして臓器取奪という大量虐殺が行われている。この法案は中共の抑圧と專制のもとで苦しんでいる何百万人の人々のためでもある」と述べた。

中国共産党による  
終わらない悲劇…

- 次に  
起ころるのは?  
?
- コロナウイルス  
(中共ウイルス)  
2019年～現在
- ウイグル人  
大量虐殺  
2017年～現在
- 法輪功に対する  
迫害  
1999年～現在
- 天安門広場での  
虐殺  
1989年
- 文化大革命で  
数百万入殺害  
1966年～1976年

## 法輪功（ファーレンゴン）とは



法輪功（ファーレンゴン）は、法輪大法（ファーレンダーファー）とも呼ばれ、1992年に李洪志先生によって伝えられた佛家修煉法である。「真・善・忍」に従って行動し、道徳を向上させながら自分の心性を修める。煉功

の動作は5式。シンプルで覚えやすく、ゆったりとした自然な動きで、身体を浄化する。全ての年齢層の方に適しており、心身の健康をもたらす。人種を問わず、世界で1億人以上の人々が修煉している。

法輪大法好 真善忍好  
FaLunDaFa Hao Zhen Shan Ren Hao



法輪功無料オンラインレッスン  
「法輪功 オンライン」で検索



## 法輪功はなぜ迫害されているのか



中国では法輪功学習者に発言の自由はない（明慧ネット）

法輪功は心身の健康効果が高く、中国では修煉者の数が急増した。当時の江澤民元国家主席はこれに強く嫉妬し、自らの政権を揺るがす脅威と見なした。

また、「偽、悪、争」を信じ、無神論を唱える中国共産党にとって、法輪功の教え「真・善・忍」は、

相容れないものだった。1999年7月、弾圧が始まって以来、法輪功修煉者に対し、強制労働や残酷な拷問、性的暴行など、精神的・肉体的に残酷な迫害が26年もの間行われている。そして、生きたまま強制的に臓器を摘出、売買する国家犯罪が今なお続いている。



この実録は、中国共産党（中共）による残酷で不当な迫害を受けながら、それに全く屈せず、中共の邪悪な本質を暴露することにより、真相を明らかにし、眞実を伝え続ける法輪大法（ファーレンダーファ）修煉者の姿を記録したものです。